

理事長挨拶

理事長 西片 多門



今年の総代会は新型コロナウイルスの影響により書面による議決のご協力をお願いさせていただきました。長い県税協の歴史の中で稀有な総代会であったことを先ずもってご報告申し上げます。

教育・情報事業

4月9日の岩下忠吾先生をお迎えしての実務研修会から始まり、組合員・賛助会員(以下、組合員等)を対象とした研修会を5回、その他に田村栄先生による3回シリーズ、職員を対象として石井幸子先生の3回シリーズの研修会を開催させていただきました。

一方、今年に入ってから予定していた研修会が全て流れてしまい、今後オンデマンド研修を企画しておりますが組合員等の皆様に受け入れられるか不透明な状態です。

昨年暮れに「希望書籍の無償配付」を15千円に増額いただきましたが、今年は研修会の中止を受け、金額を2万円に増額させていただきます。

共催事業・地域活動

県連との共催事業についても昨年同様に全国統一研修会・県連研修会そして県連囲碁大会等の福祉共済事業に協賛いたしました。ソフトボール大会では強い長岡支部の優勝に立ち会うことができ感激いたしました。

共催事業費の支払については昨年同様支払時期を繰り上げておりますが資金繰りの助けになっていると思います。

また昨年はパソコンの入れ替え、看板の設置等で税理士会に例年以上の資金需要が多かったので県連を通じて140万円の台風のお見舞いをさせていただきました。

新年度になりますが5月にマスクをお配りした際、急いでいたため検品をせずに発送した為、後に不良品があったことを知りました。紙面をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

地域経費の使い道ですが今年は地域においても使い切ることが難しいと考えています。新型コロナウイルス対策として必要な物品購入は柔軟に対応するよう指示いたしました。

昨年の実績

昨年の新潟県税協の実績をご報告いたします。事業収益は前年より900万円多い16,628万円(内引当金の取崩益400万円)と増加しておりますが伸び率は鈍化しております。費用科目では保険事業費(大同生命)、全税共事業費が900万円以上減少して予算の未消化が生じています。要因として保険関係のキャンペーンにおける受賞者数の減少とそれに伴うインセンティブの減少が見て取れ、これらの実績は次年度以降の収益の原資になることから、今後右肩下がりの業績が予想されますので、対応すべく生保各社に協力要請を行ってまいります。

今後の会務運営

5月にはマスクをお配りしていますが、税協の組合員等であることを「良かった!」と思っていただけ今後とも努力してまいります。

昨年2月のバレンタインショックに続き、この度の新型コロナウイルスにより県税協としては一番の収入源である保険収入が減少し始めております。本来なら各生保との連絡協議会を行い収益の確保を図るところですが、協議会も開催できず生保各社に今年一年の業績を預ける形になっております。9月以降に協議会は開催いたしますが成果は来年以降になるものと覚悟しております。

加えて、実務研修会等の中止、保険活動の休止等々、県税協としての事業活動全般に支障をきたしておりますが順次平常の活動に戻るべく執行部一同苦心をしているところです。

このような状況下で、組合員・賛助会員の皆様そして提携企業の皆様には今まで以上のご協力を要請することになりますが、ご理解を賜りますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

